

5

2015
MAY
KUMAMOTO NISHI Y'S MEN'S CLUB
熊本にしワイズメンズクラブ

2015年4月26日発行 No.73

CHARTERED 2009


 國際會長主題
 アジア會長主題
 西日本区理事主題
 九州部部長主題

 "Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」
 "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
 "To walk together, echoing each other" 「響き合い、ともに歩む」
 "Y's spirit, from you to me and from me to you generations!"
 「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」

 IP Isaac Palathinkal(India)
 岡野泰和（大阪土佐堀）
 松本武彦（大阪西）
 亀浦正行（熊本にし）

熊本にしクラブ會長主題 “Let's enjoy Y's Life”
～ にして築く ワイズの力 ～ 第6代會長 中西 賢一
オールYMCAデイ & 第1回九州部チャリティ駅伝
 日時：2015年4月26日
 場所：益城町総合運動公園

9:00 総合受付開始

10:00 オールYMCAデイ & チャリティ駅伝大会 開会式

- ・開会セレモニー（ステージ）
- ・オープニング新体操チーム発表
- ・聖書・お祈り
- ・テープカット
- ・HIPHOPダンス発表
- ・留学生アピール

11:00 ノルディックウォーキング教室

11:15 かけっこ教室①

11:45 かけっこ教室②



10:30 バザー開店

10:40 チャリティ駅伝大会の参加者は 陸上競技場へ移動

11:00 駅伝競技スタート

12:00 チャリティ駅伝大会閉会式 表彰式

12:30 チャリティ駅伝大会終了

今月の聖句**西原 稔**

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」（イザヤ書第43章4節）

私のご近所の方が市議会議員選挙に出られることになり、その手伝いを始めました。選挙は、まさしく人を選ぶわけですが、他の候補者の経験を見ても大して変わらず、何を主張しているのかも良く違いはわからないままです。でも私たちは何らかの基準で選んで投票します。自分と比べて立派だからとか、こんな人よりもこの人の方がよさそうなど様々です。

このように私たちは知らず知らずのうちに、人と人をまた人と自分を比べています。そして「あの人よりは仕事ができる」「あの人にはまかせるぐらいなら自分でする」というように、また「あの人は外国にいたら英語がうまいのだ」「あの人は議員の秘書をしていたから政治の人脈があるのだ」というように人と自分を比べて、優越感にひたたり妬みのような劣等感にもおちいつたりします。しかし人と自分を比べても何にもなりません。世の中には自分よりすぐれた人、自分よりすごい人が必ず多くいるものだからです。

人と比較して生きる生き方は結局自分よりすごい人がいることを突き付けられて自分をだめな人間としてとらえ、自分の存在価値を見失ってしまうものです。でも神様は聖書にあるように、人間には存在しているだけで価値があると教えてくれているのです。何かができるからではなく、存在しているだけで、私たちは神様に愛される価値があるのです。人との比較ではなく、どんなにつまらないと感じる自分でも自分の存在価値を認めて、自分らしく生きることすなわちスマップの歌のようにナンバーワンの人生ではなく、オンリーワンの人生を生きることが、私たちに求められている人生だと思います。

- いざ立て
1. いざ立て心あつく 手を挙げ誓いあらたに
われらのモットー守る ふさわしその名ワイズメン
絶えせずめあて望み この身を捧げ尽くさん
 2. 歌えば心ひとつに ともがきひろがりゆきて
遠きも近きも皆 捧げて立つやワイズメン
栄えと誉れ豊か まことは胸にあふれん

なごりはつきねど
なごりはつきねど つといははてぬ
今日ひとひのさち 静かに思う

4月例会出席状況

在籍会員数	29名	例会出席率	55.5%
広義会員数	2名	マイキヤップ	なし
例会出席数	64名	メネット	9名
第1例会	15名	コメット	9名
第2例会	13名	ゲスト・ビジター	31名

会長通信

にしワイズメンズクラブの皆様、日頃よりワイズ活動へのご支援・ご協力誠に感謝しています。ありがとうございます。

熊本には阿蘇の広大な山、青々とした天草の海と自然に恵まれています、5月の連休には地元でゆっくり過ごす家族も多い事でしょう。阿蘇の大観峰はバイク乗りの間では聖地と呼ぶ人がいるとか？いないとか？この時季からたくさんのライダーが阿蘇山にツーリングに来ますね、自然の中を仲間と走り楽しむ姿をよく見かけます。また、天草では魚釣りを家族で楽しむ姿を見ます、熊本の良さをこの連休にたくさん楽しんだことでしょう。最近、箱根では火山性地震が多くニュースで流れますか、もちろん熊本の阿蘇山もまだ活動中です。この間仕事で高森の方に行きましたが、道路も灰で黒く地元の方は 生活に困難かも知れません。ワイズメンズで何かできることがあれば協力しましょう。

4/26 オールY M C A デイ開催しました。すばらしい天気に恵まれ朝早くからたくさんの人が参加してくれました。にしクラブのメンバーも5月の移動例会として駅伝、バザー、ボランティア班と分かれ楽しみました。各クラブのメンバーとの交流も含めて競い合うかのようにバザーの用意をし、駅伝の準備をメンバーでこなしました。本館で開会式が始まるとたくさんのセレモニーがあり、新体操、Hiphop、体操とすばらしいステージをYMCAの子供がお披露目しました。

その後、数カ国の留学生によるアピールがあり、それぞれの国の言葉でドラえもんを歌われました。どの国でもドラえもんは愛されているんですね。駅伝が始まる前には、サッカー大会も始まっていて、たくさんの家族が応援に来てました。どのチームのちびっ子も未来のリーダーを目指してサッカーを楽しんでいるように見えました。暑い日ざしの中めげずに走り回っている子供を見て、駅伝に参加するアスリートは闘志を燃やしたのでしょう。駅伝の開会式のときには、準備体操からかなりの力の入りようで、スタートの合図を今か今かと待ちわびてました。参加チームのプラカードも各自アピールですごいものを作ってこられてました。数十チームのランナーも各々負けないユニフォーム姿で参加を楽しみ、写真もたくさん取られた事でしょう。にしクラブメンバーチームにヤングクラブ宮崎ワイズも助っ人で参加してくれてありがとうございました。感謝します。全チーム目標タイムを記入して頑張りました。たぶん、予想以上に力が入り、目標タイムより早く走れたチームが多かったのではないかでしょうか、SOのメンバーもすばらしい走りでそれぞれ賞をいただき閉会式ではとてもうれしそうに喜ばれてました。無事にバザーの方もカレー、焼きそばと完売し、のみの市も好調な売れ行きに、にしクラブとしては満足な結果となりました。

にしワイズメンズだけでなく、ワイズメンズクラブ九州部とYMCA、SOと協力して益城町総合運動公園でスポーツ交流しながら、地域にYMCA活動をアピールする今回の大会は大成功を収め、今後につながるのではないですか。実行委員長をはじめ、参加して下さった方々に感謝して、今後のワイズライフをにしクラブで楽しみましょう。



熊本にしクラブ6代目会長
中西 賢一



“Let's enjoy Y's Life”

4月5日BBQ例会報告

4月5日、ノルディックウォーキングとバーベキュー例会が開催されました。

残念ながら前日の雨で実際にノルディックウォーキングを行うことはできませんでしたが、バーベキュー会場の水元ワイズ宅の庭を借りて基本的な説明をうけました。ノルディックウォーキングはスキーのストックのようなものを使って歩くもので、通常歩行よりエネルギー消費もよく、姿勢、肩こりの改善など多くの効果があるとのことでした。いつか機会があれば実際にノルディックウォーキングをしてみたいと思いました。

その後、バーベキューの準備をみんなで行い、水元ワイズの挨拶と乾杯でバーベキューがスタートしました。64名という多くの参加があり、たくさんの美味しい肉や料理、そしてバーベキューのいい匂いにアルコールもすすみ、部屋や庭のあちこちで盛り上がり、会話や笑いのあふれた楽しいひと時となりました。会場を提供してくださった水元ワイズ、メネットありがとうございました。

松野 孝信



西クラブの4月例会は通常の例会場を飛び出して水元ワイズ宅を解放してのBBQ例会とのことで、メネットとともに参加させて頂いた。当日はあいにくの小雨まじりの天気であったにもかかわらず64名の参加を得て大きな邸宅と庭がほぼ満杯の盛況であった。

通常の例会場での例会ではせいぜい隣同士に座った会員同士で話をする程度なので、顔は知っているが話したことがない会員も多い中で、このような誰とでも話しやすい雰囲気の例会を開いて頂けると私のようなフツーの会員としてはとても有り難い。当日は用意した料理やデザートもほぼ完食状態で、参加者全員満足して帰路に着いた事と思います。

自宅を開放して頂いた水元会員を初め、準備に奔走して頂いた準備委員の会員に感謝したいと思います。ありがとうございました。

池上 富雄

「チャリティ ウエルネス フェア」に参加して

2015年4月26日の日曜日、朝7時前に益城町総合運動公園にワイズメンの皆様、ボランティアの皆様に集合いただき、この日のスケジュールのミーティングが行われました。

当初は九州部主催で「チャリティ駅伝」を計画していたこのイベントです。その後、熊本YMCAが、御船町と益城町の施設を指定管理することになり、この際、熊本YMCAのプログラムを地域の皆様に知りたい機会にしようということになったのです。「オールYMCAデー」と銘打って、熊本YMCAのプログラムに参加されている皆様の活動の成果を発表する場となりました。新体操やダンス、幼稚園児の楽器演奏などは、ご両親やご祖父母の皆様のみならず、会場の皆さん的心に響いて参ります。

いずれ、この会場の観客席が近隣住民の皆様で埋まってしまうイベントになれば素晴らしいことでしょう。

この競技場で、これまでに熊本YMCA少年サーカー大会として3回の競技会が開催されています。一回あたり、50チームのアスリートが参加し、保護者の皆さんを入れると1500名の集まりとなっています。今回は3月にサッカー競技会をしている関係で23チームの出場でした。下記の駅伝との会場での混雑の状況をみるために、あえて出場の呼びかけを調整したことでの参加チーム数となりました。九州各県からの参加を対象として「チャレンジ少年サーカー大会」としました。今回は熊本県以外のチームの参加はありませんでしたが、これもいすゞは九州全県からの参加をいただく大会にしていきたいと考えています。

「九州部チャリティ駅伝」は、20チーム。九州圏の就労支援施設などで働いておられる皆様に参加の呼びかけをし、10チームの参加がありました。SON熊本には主催者のお一人となっていただき、10チームが出場いただきました。20チームで駅伝スタート！タイム宣言の駅伝です。

普段から、いろんな競技会に出場するために練習に励んでおられるチームには、ワイズチームがめいっぱい走って、とてもかないません。一生懸命に走っておられる姿には心打たれます。車いすで参加されたアスリートの方が、ゴールテープを切られるときには、全員が集まって称賛の拍手で迎えました。



私達ワイズメンは、ハンディを持った方と健常者とが、まったく当たり前のこととして相互に協力しあう社会が大切だと、中村勝子ワイズのお話から学んできました。中村ワイズのお話では、「SONの活動とともに、社会のあちこちでこのような大会が開かれ、これらのイベントへの参加を通して、アスリートの皆さんのが社会の一員としての自覚が高まることが大事なことであるとともに、ボランティアとして参加されて方々が、共に時を過ごすことで、お一人おひとりが何かを感じていただくこともさらに社会にとって必要なことだ」と言われています。

ハンディを背負うということは、自分の人生でも必ず「在る」ことです。自分にも「在る」し、身近な大切な人にも「在る」ことです。親であったり、兄弟であったり、祖父母であったりすることもあるでしょう。それぞれがいろんな立場で深く考えることが大切だと、SONの理事長を担われた、細川佳代子さんが講演で、目に涙一杯ためてお話をされていたことを思い出します。

この駅伝が、さらに発展して、本当に「九州部チャリティ駅伝」となることを期待するとともにこの目標に向かって働いていきたいと思っています。

さて、「チャリティーバザー」です。今回は21店舗だったでしょうか。聞くところによるとどのお店でも大方完売したとのことです。にしきラブも完売で7万円を超す売り上げ、益金は4万位でしょうか。メネットさん達のフリーマーケットも1万円を超す販売額のようです。ということは20店舗の売り上げは100万円という計算ですね。

今回の大会では2400名程度の参加総人員とカウントしています。会場や駐車場のキャパからすると5000名位はいけるでしょう。バザーも50店舗位は大丈夫です。工夫すると100店舗はいけます。地域の皆様のご来場が増えると、バザーの総売り上げは1000万も夢ではないと思います。クラブの運営費を知恵を絞って獲得して参りましょう！

最後に、にしきラブの皆様はじめ、10回を超える実行委員会委員各位、九州各クラブの皆様からのエールとその御働きに心より御礼を申し上げます。
感謝



亀浦 正行

スペシャルワイスな春

4月5日（日）「バーベキュー例会」、4月26日（日）「第1回オールYMCADイ」、5月4日（月・みどりの日）「地域奉仕'だご汁会'in縁（えん）小島」と、にしクラブにとって、濃密なワイススケジュールの時季でした。

「ワイスな春」…やわらかく、爽快に、そして笑顔の芽をくすぐる風が吹き渡り…。いずれも【亀井ランチ】エッセンス・カラーが織りなすイベントとなり、〈食〉がつむぐご縁とはたらきは、私自身にとりましても『ワイス甲斐』を感じ入った素敵特別な経験となりました。

クラブチャーターメンバーとして6年間、私の中で、この春最も《ウルトラ・ワイスライフ》だったように感じます。

「バーベキュー例会」は、水元ワイス邸宅を拝借会場とし、沢山のゲストと共に過ごす「ホットでおいしい会」に。こちらにも〈食〉でお手伝いとなりました。集われる方々のお顔を想い浮かべつつ真剣に、おしながき、分量を熟慮。

必然の出会いの和（環）を取り持つお役を、オードブルと共に担わせて頂きました。初めてお目にかかる方とも、網を囲めば、瞬時に仲間へいえ、ずっと以前から知り合ったような柔軟な空気が漂い始めます。ワイスメンバーとそのお仲間は、いつもどこでも・どんな境遇にても『素晴らしい友』なのですねー。たゆまぬ想い、確かな活動方針の輪郭が更に浮き彫りになりました。

「第1回オールYMCADイ」のバザー商品準備・搬入販売も仰せつかりました。当日は、暑いだろうか？肌寒い？何を出店する？温める？入場者数は？子どもはどの位？？錨締する戸惑いの嵐の中を「オールYMCAD傘をしっかりと握りしめ、踏みしめた道のりでした。

慣れない社用ハイエースランチ号を操り、商品寸胴他備品を積み込み、会場である【益城町総合運動公園】までハラハラドキドキドライブ＆参上。この日始めの本音→無事に到着できました！！！…この時点で、イベントは大成功！！！であったのですが、何とあれよあれよという間に見事完売---もう、パラダイスデイでした。◎“じゃあ、来年は、倍の数を！”の声、調子いいメンバー。各々役割を担い、おのれの心傾け尽力、それを素直に応援支援する。実に美しく心地よい存在同志です。

“いやあ～、売れ行きどうだったかなあー？って、気になっていたのです。”と、バザーの「カレーライス」と「焼きそば」を愛情たっぷりに手作りした【コープ合志】内【亀井ランチ】惣菜店長が、イベント後そわそわして気にしていたのです。“味もバッチリでしたよー○、その証拠に…再び購入に見えたご家族が、いくつもあつたのですよ。嬉しいですよね。”、“よかったです！ 今まで言って頂いて、恐れ入ります。又、ご依頼あらばがんばります♪”とピカピカ笑顔～間接的に叶ったボランティアに、店長は心底喜んでいました。



5月4日みどりの日、辺りは若葉の緑色グラデーションが目に鮮やかに、草木の花色との協奏にうっとり。うっとり…は自然美ばかりではないことに、この日の結びに気付くのでした。

奉仕会場は、にしクラブ神山ワイスが施設長を務めておられますディサービスヘルパーステーション。にしクラブオリジナル手づくり企画地域奉仕の一便是、華やいだ音響に包まれました。

ディサービス利用者、施設スタッフ・関係者の皆様に向けて、自治会、地元子ども、にしクラブメンバーが力を合わせ「だご汁」を作り、会食交流。午後は、ソプラノ歌手によるコンサートと食と音楽のプレゼント♪ 快の時間を演出…というものでした。

ご利用者は、談笑しながらも眼差しと手つきは真剣、、、だごちぎり・延ばし仕上げ、ネギを丁寧に包丁で刻むお姿も印象的でした。“だああいたい（だいたい）、だごじら（だご汁は）、のばしてから、きっでしゅがあ（切るでしょう）。どぎゃんすっと、よかなー？！”と、或るおばあ様。“しょごたるごつ（やりたいように）、食べよごたるごつ、しなはって、よかですよー！”と返答した私。我が家にても、祖母が「麺だご汁」にしていたなあ…と幼い頃の自分にタイプスリップしました。慣れ親しんだメニューに、心も手先も‘あの頃’に戻られた、穏やかな表情に、ホッと心あたまりました。

誰もが口ずさむ、郷愁に想い馳せる歌から、歌手のウーン学び時代の思い出の一曲まで…会のエピローグ…ご利用者一人おひとりに宛てた、子どもとにしクラブメンバー手書きメッセージカードもプレゼント。私が『みんなの笑顔が素敵ですねー』と書いている真横で、一人の女の子お友だちが、“私もそれ書こう♪”と。『みんなのえがおがすきですねー』…ちょっと変わりましたが、嬉しい一コマでした。

だご汁ふるさと家庭の香りと、魂響き合いにだます歌声。。。地域奉仕委員長の役務として、生きる一存在として、それぞれの人生アルバムのスペシャルな一ページとなつたことと、思つて止みません。

寄り添い、どなたかの励み、助け、のぞみになるなら…どんなに小さなことでも、私にできることなら…私の“ワイス幸進”的芯です。

大切なこと、当たり前と感じてしまっていること、スマールサイズでも大きな感動があることを、いつも心を通じて知ることが叶う、それが「ワイスダム」なのだ♪

沢山の方々、様々なシーン、その間で培われるワイス精神にふれ、そのように改めて感じ、又、これからも間に在つて、『ワイス心の種火』を守り、灯し続けようと思い新たにしました。

亀井 純子

4月企画例会報告

日時：2015年4月15日（水）19：30～21：00

場所：熊本中央YMCA ジェーンズホール

参加者：岩本、岡村、中西、亀井、亀浦、木本、町田由、水元、加藤、神山、水元メネット、亀浦メネット、岩本メネット 以上13名

【報告事項】

1. 4月ウェルネス、E M C例会：水元メン

日時：4月5日（日）11時～5時

場所：水元ワイス宅 ノルティックウォーク&BBQ

ゲスト：岩本ワイス（熊本ひがしクラブ）

参加者：メン14名 メネット9名 ビジター42名 計65名
阿蘇藤本ワイス、スピリット紫垣ワイス、たくさんのビジャー参加

2. YMCA入学式 中西、亀浦ワイス

日時：4月3日（木）13時～14時

会場：くまもと森都心プラザホールにて

新入学生の新しいスタート



3. リサイクルファンド：神山メン

回収日：3月28日（土）

回収場所：みずもとこどもクリニック様駐車場 8：00までに

回収物：アルミ缶、新聞&折込広告、紙、雑誌、ビン(ビール瓶コンテナケースOK)

ダンボール等で5,300ほどに、

4. 各委員会より（連絡等ありましたら、お願ひします。）

* プリテン委員長（宮田ワイス）

2015年5月号 プリテン 原稿依頼（案）

1. 今月の聖句 西原様

2. 4月26日移動例会プログラム 吉田様

3. ハッピーバースディ、アニバーサリー 吉田様

4. 4月15日企画例会の議事録 中西様

5. 4月5日BBQ例会の感想 池上様と松野様

6. 会長通信 中西様

7. 理事通信 中西様

8. YMCA学院通信、行事予定 加藤様 養生園祭感想

* E M C委員長（水元ワイス）

青年会員獲得を目指し声掛けを、

* ドライバー委員長（吉田ワイス）

* ファンド委員長（神山ワイス）

献金の残りを、

* 交流委員長（岩本ワイス）

IBC台湾の呼びかけ、西日本区大会、アジア大会の呼びかけ

* YMCAサービス委員長（西原ワイス）

* 広報委員長（松野ワイス）

* 地域奉仕委員長（亀井ワイス） 5/4 だご汁会

5. YMCAより 加藤連絡主事

定期総会準備委員会 西原ワイス

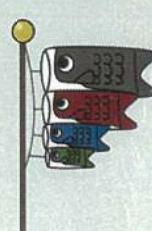
第1回 4月17日（金）19：00～20：30

第2回 5月29日（金）19：00～20：30

定期総会リハーサル

総会 5月31日（日）

中央YMCA駐車場がコインパーキングへメンバーはオレンジ枠に



【協議事項】

1. リサイクルファンド

回収日：4月25日（土） 第4土曜日 8：00より

回収場所：みずもとこどもクリニック様駐車場

回収物：アルミ缶、新聞&折込広告、紙、雑誌、ビン(ビール瓶コンテナケースOK) 一升瓶、段ボール

※アルミは鍋、やかん、サッシュの枠など也可

2. 阿蘇キャンプ場足湯つくり

4月中にベースづくり、5月中に完成！



3. 菊池養生園祭について

日時：4月19日（日）のみの市

メネット中心で8：00集合

古着、他の回収お願い、テント類YMCAより 参加者中西、亀浦、岩本、水元トラックで

AM6:30天候見て水元メンより連絡、中止の場合オールYMCAチャリティバザーで

4. 5月移動例会 チャリティ駅伝 バザー関係

4/26オールYMCAデイ 21日実行委員会 東部YMCA

駅伝班：ユニフォーム、プラ版

バザー班：IH無しで、メネット搬入手伝い

ボランティア班：当日役割指示

実行委員YMCAからテント、テーブル 参加食事代として一般会計より1,000補助

5. 5月4日★「地域奉仕だご汁会'in縁（えん）小島」別紙

日時：平成27年5月4日（月）10：30～14：00

奉仕会場（施設）：デイサービス 縁（えん）小島

奉仕趣旨・内容：

デイサービス利用者、施設スタッフ・関係者に向けて、地元小学生（子ども）がだご汁を手作り

（一部調理）し、提供・交流する。一同で会食。

午後は、ソプラノ歌手によるコンサートを実施、利用者皆様の和み・やすらぎ・快の時間をプレゼント

九州部への呼びかけ、Y'sパルにて会長からメール 25日自治会長へ連絡

6. にしがくら これからの例会、行事等について

* 6月の例会：日時：6月3日（水）

主な予定：1年の振り返り、会長引き継ぎ式

場所：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

7. 次期3役、役員について：木本次期会長

副会長：宮田メン 会計：書記：各委員長個別で相談

8. 西日本区大会

日時：2015年6月13日（土）～14日（日）

場所：ハイアットリージェンシー大阪 クラブから2万円の補助

9. アジア地域大会（京都）

日時：2015年7月31日～8月2日 クラブから2万円の補助

中西、木本マーシャルでの参加

- 4月・5月の行事予定

4/19（日）菊池養生園祭

4/25（土）リサイクルファンド

4/26（日）チャリティ駅伝 オールYMCAデイ

5/4（月）「地域奉仕だご汁会'in縁（えん）小島」

5/20（水）企画例会

5/（土、日）足湯作り完成

6/3（水）6月例会会長引継ぎ式、1年間反省

理事通信

主題：「響き合い、ともに歩む」
Walk Together, Echoing Each Other



西日本区理事
松本 武彦

5・6月の残る2ヶ月は今期におけるワイズ活動の整理と申し送りに時間を割くときです。もちろん、その時々の課題への即時対応も求められますが、単年度制下でワイズ活動の理念をしっかりと継続していく上では、整理と引継ぎが大事であると考えます。現在、来期への引継ぎ業務としては、B F 代表受け入れ業務、デンマークからの西日本区クラブ例会訪問のお世話などがあります。今期、岩国みなみクラブと東日本区もりおかクラブのD B C 締結に続けて、4月5日、京都トップスクラブが、その20周年記念例会に先立ち、東日本区の沼津クラブとのD B C 締結式を持たれました。若いメンバーが数多くを占める京都トップスクラブとベテランメンバーが多い沼津クラブとのD B C 締結は互いを力づける好ましい組み合わせの例になると予想され、今後が楽しみであります。

4月11日(土)～12日(日)、ホテル・クライトン新大阪で西日本区第3回役員会を開催し、4件の議案審議のうちの1件、国際新事業「STEP For All」はどの事業部門が担当するかの審議では、事業名称の一部に国際・交流事業がかかわる「STEP」の文字があるものの、実質はT O F 事業の発展にかかる新事業であるので、担当は地域奉仕・環境事業主任とし、国際からの募集案内があれば地域奉仕・環境事業主任から広報し進めることとしました。

そして、4件の協議案のうちの1件の協議では、為替レートの変動が激しい中で国際献金E F (エンダウメントファンド)においてこのレート変動にどのように対応するかについていろいろな意見が出され、提案者から、これらの意見を踏まえ、事業委員会で改めて検討したいとの意思表明があり、これを了しました。

日本YMCA 同盟の国際青少年センター「東山荘」は、今年、創立100周年を迎えます。東山荘は学生Y M C A の夏季学校常設施設としてスタートし、青少年育成を始めとする様々なY M C A 活動の拠点として用いられ、日本におけるY M C A 運動の心の故郷とも称されています。とりわけ、東日本大震災を起点として、被災地からの被災者受け入れ、被災ファミリーや現地で活動するボランティアスタッフに対する心のケアプログラムやキャンプを通じて、東山荘が全ての年代の人々に心の癒しと安心を取り戻し、活力を持ってそれぞれの場に戻って行くための安心安全の場であることの意味がより一層強まっていることがあります。

東山荘創立100周年を迎えるにあたり、野外教育ゾーンの整備、施設改修等を目的として2009年に募金が開始され、ネイチャーセンター、バーベキュー場等が完成されました。今般、新本館の建設を主たる目的として第2次募金「東山荘100年募金」が開始されました。新本館建設は、老朽化した本館を耐震性能にも優れたより機能的なものに建て替え、利用者に安心、快適に使っていただくとともに、魅力ある施設によって、利用者を増やして行こうというものです。今年秋に着工し、2017年3月頃に完成の予定です。詳しくは、3月19日付けで各部長・各クラブ会長宛に送付しました日本YMCA 同盟からの依頼状、募金パンフレットをご参照ください。

西日本区の各部・各クラブにおかれましては、そしてメンバーの皆さんにおかれましても、東山荘100年募金にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



5月の強調月間 Leader Training



『ワイズメンズクラブの未来のために、クラブ・部・区での研修だけでなく、個人のスキルアップのため自己研鑽に励みましょう。』

スキルアップするには、人と出会い親睦を図る、例会を企画・運営する、スピーチをする、時間を守る、報告書を書く、奉仕活動をする、国際に目を向ける、等色々な方法があります。特にワイズメンは、世俗の論理（社会における地位、立場等）に関わることなく、全員が一メンバーとして役割を与えられ、色々な経験を積むことができます。ご自分の力を発揮し、新しいことにトライし、能力や人格を磨いてください。

ワイズリーダーシップ開発委員長 藤井久子（神戸学園都市クラブ）

熊本YMCA学院通信



2015年度の入学式が4月3日に、154名の新入生を迎えくまもと森都心プラザで行われました。熊本にしワイズからは中西ワイズ、亀浦ワイズにご出席を頂き、ありがとうございました。

入学式後、新入生の皆さんは、翌日から7日までの期間、各学科に分かれ、1泊2日のフレンドシップキャンプに参加しました。このフレンドシップキャンプは、これから学びをともにする仲間や教職員との人間関係を作り、2年間や3年間の学院生活を楽しく充実した学院生活をスタートするなどをねらいとしています。

4月13日からそれぞれに目標、夢を持った学生の学院生活がスタートしました。大半の学生は、3月に高校を卒業し入学していますが、中には、大学を卒業して進路変更された方、職業訓練校からの委託で学びを行う社会人の方など、それぞれに強い思いを持って入学されました。決して平坦な道ではないと思いますが、クラスの仲間と励ましあいながら、日々の生活を大切にし、専門性を身につけていただきたいと思います。また、就職を希望している各業界の情報にも関心を持って、学内での学びを職場実習でも活かし、自分に足りないことが何なのか課題を持って学びを深めていただきたいと思います。

私たち専門学校教職員として、一人ひとりの学生を真ん中に据え、学習面や生活面での支援をしっかりとていきたいと思います。

入学時に抱いている“夢”や“志”をいつまでも持ち続け、希望する仕事につくことができるよう自己実現していただきたいと願っています。

連絡主事 加藤泰文 ワイズ



5月の予定

3日（日）西日本地区リーダー研修会

7日（木）全国Y M C A 専門学校担当者会
（～8日）

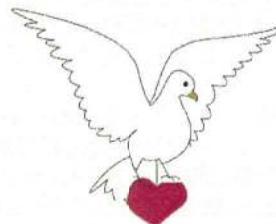
9日（土）1年生保護者会

15日（金）スポーツデイ（益城町総合運動公園）

16日（土）オープンキャンパス②

27日（水）ギューリック3世来熊（～30日）

31日（土）2014年度熊本Y M C A 定期総会
※4月23日～5月14日 学校訪問



編集後記

新緑が眩しい季節になりました。レジャーにも最適なこの時期、自動車の窓から入ってくる風すら心地よく感じます。

今期の活動も残り2ヶ月となりました。キックオフ例会から1年が経とうとしているとは…月日が経つのは早いです。我が家子供達は3才と5才ですが、彼らには月日が経つのはとても遅く感じているようです。幼児の彼らにとっては、毎日が新しい発見・成長の日々で、朝・昼・晩毎にすら新しい事と出会っている刺激のあるものゆえに、1日1日を長く感じているようです。大人の私たちは既に経験を積んできていますので、日々新しい発見をすることは漠然と日々を過ごしていくは難しく、向上心をもち、アンテナを拡げていないと「気づき」がないまま通り過ぎてしまいます。子供達から教わる毎日です(^_^;)

“Let's enjoy Y's Life”

